



どじょうのささやき

今月の特集

1 基礎について

2 地引網大会

2002年

8月号



工事が始まりました！ 



暑い夏がやってきました！みなさんいかがお過ごしですか？今月の特集1は、「建物の基礎を考える」です。米子市と伯太町で現場がはじまりましたので、その写真をみながら基礎



を考えて見ましょう。基礎は、建物で一番大事なところですから、工事業者を選ぶには、この現場を見るのが一番役に立ちます。丸永建設では、強い事はもちろんですが、建物全体の長持ちを考えて、防湿基礎を採用しております。これで、床下の湿気を防止しています。(写真を見てください)

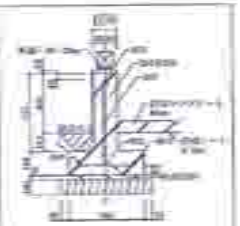
また、下の図のように丸永建設の基礎には、3つの特徴があります。

- 1 公庫基準以上の強い基礎
 - 2 床下からの冷気を減少
 - 3 鋼製束で床面を強化
- 以上ですが、詳しくお知りになりたい方、現場をご覧になりたい方は、お気軽に担当までお問合せください。
(問合せ先は最終面)



公庫基準以上の強い基礎

- 立ち上がり幅は、公庫基準を上回る160mm。
- 基礎パッキン工法で、床下換気を促進。



床下からの冷気も減少

- 1階の床には高性能な断熱材を施工し、冷気をシャットアウト。
- 夏は、冷房された空気を屋外へ逃がしにくくします。


鋼製束で床面を強化

- 1階床の大引部分には鋼製束を採用し、強度と耐久性を高めています。

将来、住まいの沈下などが起こらないために。建て替えの場合でも安心できません。

地盤が弱いと地盤による被害も大きい。

この図は、地盤が弱いと、建物の基礎が沈下し、床が歪むなどの被害が生じます。これを防ぐためには、地盤調査を行い、適切な基礎工法を選択する必要があります。



地震などで傾きやすい例は...

地震などの外力により、地盤が不均一な場合、建物が傾きやすくなります。適切な基礎工法により、傾きを防止することができます。



地盤沈下を起こしやすい例は...




軟弱な地盤に建設した場合、地盤沈下が発生し、建物の歪みや傾きを引き起こします。適切な基礎工法により、地盤沈下を防止することができます。



お宅の地盤は大丈夫？

基礎も大事ですが、その下の地盤はもっと重要。ここが弱ければ話になりません。丸永建設では、前もって地盤調査を行い、その地盤に合った基礎で工事を行います！

万一、地盤が弱いことが判明したら...

| 1. 基礎形状の変更 | 2. 表層改良工事 | 3. 柱状改良工事 |
|---|---|--|
| <p>基礎形状の変更</p> <p>基礎の形状を変更し、より安定した構造を実現します。</p>  | <p>表層改良工事</p> <p>表層の地盤を改良し、強度を向上させます。</p>  | <p>柱状改良工事</p> <p>柱状改良機を用いて、深部地盤に柱状体を注入し、強度を向上させます。</p>  |

今回米子市のお宅では、柱状改良を行いました。





イベントだより

7月14日に、地引綱を行いました。前日の大雨で、心配されましたが、当日は、打って変わっていい天気！！OBのお客様、取引先のみなさん、弊社社員、およそ80名が参加して、楽しい1日をすごしました。



今月のイベントのお知らせ

◆ 構造現場見学会を行います

8月下旬に、安来市東十神町で行う予定です

詳しい内容は、決まり次第ご案内します！！



メ毛

丸永建設株式会社

本社/〒692-0023

安来市黒井田町1895番地3

TEL (0854) 22-2478

FAX (0854) 23-2348

米子営業所/〒683-0836

米子市花園町126番地1

TEL (0859) 33-3847

E-mail : marunaga@crocus.ocn.ne.jp

担当